



地域とともに
ある学校づくり

鬼石中学校区

コミュニティ・スクール通信

第3号 令和6年10月12日 広報部

第3回学校運営協議会 9月19日（木）



さくらっち

わたしはさくらっち。9月19日（木）に鬼石小学校で第3回学校運営協議会が実施されたけど、その様子を紹介するっち。前半は「評価部」「地域連携部」「広報部」から、これまでの活動について報告をしたっち。後半は、学校運営協議会委員と鬼石小の教職員との懇談を行ったっち。学校が抱える課題や教職員の思いや悩みを委員がじっくりと聞いたっち。「学校の応援団」として、今回の懇談で出された課題などを今後の学校運営協議会で熟議し、学校をサポートしていくっち。

（1）評価部

- ・今年度の「鬼石連携型小中一貫校アクションプラン」の取組を振り返り評価していただく。地域の方や保護者には、事前にアンケートの評価項目をお知らせし、12月に回答していただく。
- ・「学校へ行く機会がなく、学校の取組や子供たちの様子が分からない」というご意見をいただいた。各学校のホームページで学校の様子をご覧いただき、回答する際の参考にしていただく。また、各校のホームページが簡単に見られるようQRコードを掲載するようにした。



前半の熟議の様子

（2）地域連携部

- ・部会を開き6月20日に行われた「ボランティアのつどい」の振り返りを行った。参加者からの意見をもとに課題や解決策を話し合った。（裏面をご覧ください。）



後半の委員と鬼石小教職員との懇談の様子

（3）広報部

- ・地域連携部と協働しながら「コミュニティ・スクール通信」の内容をよりよくしていく。（例）ボランティアに特化した広報誌を新たに創設し、発信する。



鬼石小の授業を委員が参観しました

前半は、「評価部」「地域連携部」「広報部」からの報告に対し、様々な意見が出されるなど、今回も活発な熟議になったっち。後半は、初の試みとして、学校運営協議会委員と教職員との懇談が行われたっち。自己紹介の後、会場校である鬼石小の教職員から学校の課題や教職員の思いなどが出され、学校の応援団である学校運営協議会としては、学校にどのようなサポートができるか話し合われたっち。



☆6月20日(木)に鬼石中にて「ボランティアのつどい」が行われ、参加者の皆様からご意見などをいただきました。ご意見を受けて、地域連携部で課題や解決策について話し合いをしました。その一部を紹介します。

<課題と解決策>

- ・ボランティアに在校生の保護者の参加が少ない。今後の活動存続のためにも新規ボランティアを増やしたい。特に下校時の見守りボランティアが不足している。
- 各グループの活動内容の紹介やボランティア募集を PTA 総会等の場で積極的に行う。GS 通信を学校メールで配信して保護者に興味を持ってもらう。気軽に見守り隊の活動ができるよう、ウォーキングや犬の散歩、庭の掃除などの時間帯を活用して見守りボランティアが行えることを周知する。

地域で働く「鬼石中チャレンジウィーク」

9月3日(火)から8日(金)までの4日間、鬼石中2年生のチャレンジウィークが鬼石地区内で実施されました。台風の影響で例年より1日少ないチャレンジウィークとなりました。地域の事業所の皆様には、実習の受け入れ先として大変お世話になりました。感謝申し上げます。

今回のチャレンジウィークは、「働くこと」「社会人になること」などについて、地域の中で考えるよい機会となりました。鬼石小、鬼石北小でも生徒が職場体験を行い、一貫校の先輩として、児童たちのよいお手本として熱心に取り組みました。



鬼石小学校



セブンイレブン



鬼石消防分署



ミツバ

小学校の運動会 盛り上がりました!

9月28日(土)に鬼石小・鬼石北小の運動会が開催されました。両校とも多くの地域の皆様に来校いただきました。そして、本気で頑張る子どもたちに対してたくさんの応援の声をいただきました。とても盛り上がる運動会となりました。ありがとうございました。

運動会の目玉はともに、全校児童で踊る「ソーラン節」です。高学年の児童が低学年の児童に丁寧かつ優しく教える場面があちこちで見られました。そして、当日まで繰



北小ソーラン



鬼小ソーラン

り返し熱のこもった練習を行いました。運動会本番では全員が心を一つにし、元気いっぱいに踊る姿が印象的でした。